

吉本章紘 tenor sax
遠藤ふみ piano
須川崇志 contrabass
則武諒 drums

2026 04月29日 (祝水)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無) (1drink=600)

MC=4200+2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



遠藤ふみ

1993年2月生まれ。ピアノなど。2025年7月現在、継続して活動しているユニットに幽けき刻、鏡の声、Uquwa、Thieves、Pht、奥遠宮、佇々、хадгалагдах、吉本章紘カルテット、clouds 犬、ふかふかさざ、わに、他(名前があるものに限定して記載)。性質と性質の境界のようなところ、同時に、そこにたしかにあるかもしれないこと。2023年2月、FtarriレーベルのHitorriよりソロCD『つめたい光、あたたかい青の中』をリリース。他2022~2025年にかけて複数の参加作あり。

■演奏予定・音源情報:
<https://linktr.ee/e23227>

吉本章紘

サクソ奏者・作曲家。1980年神戸生まれ、東京在住。2003年に渡米、Frank Tiberi, George Garzone, Joe Lovanoの各氏に師事し、パークリー音楽大学演奏科を2006年に卒業。2010年、自己のカルテット(吉本章紘, Aaron Choulai, 須川崇志, 石若駿)を結成し、アルバム『Blending Tone』(2012年)、『Moving Color』(2015年)をリリース。2018年4月、ピアニスト "Billy Childs Quartet" のブルーノート東京公演(グラミー賞受賞記念コンサート)に2日間参加。同年、須川崇志とのデュオ即興演奏をライブ収録したアルバム『Oxymoron』をリリース。2019年、自身の作曲に焦点をあてたアルバム『Nostalgic Farm』を自主制作。2022年には、即興演奏を全面に出したアルバム『64 charlesgate』を、地底レコードよりリリース。現在は、自己のプロジェクトの他に、大西順子セクステット、サキソフォビア、原信夫とシャープス&フラッツ、守屋純子 Orchestra、森田真奈美 Big Bandなどにレギュラー参加。
公式ウェブサイト
<http://www.akihroyoshimoto.com>

須川崇志

東京在住のジャズベーシスト、チェロ奏者。群馬県伊勢崎市出身。11歳からチェロ、18歳からコントラバスを始める。ソロを始め、様々な形式での即興演奏を軸に活動。米ボストンのパークリー音楽大学を卒業後、ニューヨークへ移住。ピアニストの菊地雅章氏に出会い、音楽哲学から大きな影響を受ける。帰国後、日野皓正クインテット、渡辺貞夫カルテットのメンバーとして活動。現在は、自分が主宰する「パンクシア・トリオ」「(林正樹、石若駿)をはじめ、峰厚介カルテット、森山威男クインテット、八木美知依トリオなどのグループに参加している。東京JAZZやモントルー、ロンドン、デトロイト、メルボルン、メールスといった国内外のフェスティバルに多数出演。また、俳優・金子あいの舞台「平家物語」でのソロ演奏や、写真展、ダンス、パブリックアート作品のための音楽制作も行われている。2018年にデビューアルバム『Outgrowing』(Leo Genovese, Tom Rainey)を発表。パンクシア・トリオでは最新作の『LIVE』を含め現在までに4枚のアルバムをリリースしている。出身地である伊勢崎市の教育大使として、次世代の演奏・講演活動にも力を注いでいる。

則武諒

1984年、愛知県名古屋出身。ロック、ヘヴィメタル、ハードロック、パンクなどから影響を受けるが次第にジャズや即興音楽に傾倒する。ボストンのパークリー音楽大学を卒業後、ニュージャージーの名門ウィリアムパターソン大学に進学し音楽修士号を取得。教養に裏付けられた深く洞察力溢れる揺るぎないドラミングは多方面から高い評価を得て数多くのユニットで活動中。